

環境経営レポート

第56期(2024年度) : 第15版

(活動期間:2023年10月1日~2024年9月30日)

適応規格:エコアクション21に準拠
(ガイドライン2017年版)



作成日 : 2024年11月22日



株式会社 石原産業

目 次

	ページ
1. 環境経営方針	3
2. 事業活動の概要	4
3. 実施体制	5
4. 環境経営目標とその実績	6
4-1.環境経営目標	6
4-2. 環境への負荷実績	7
4-3.環境への取組状況	8
5. 主要な環境経営活動計画の内容	9
6. 環境経営活動の実績と評価	10
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	12
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	13

環境経営方針

基本理念

株式会社石原産業は、「新しい価値の創造に挑戦」の理念のもと、環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、事業活動を通じて技術的及び経営的可能な範囲で積極的かつ継続的に環境保全活動に取り組んでまいります。

基本方針

1. 事業活動・製品・サービスに関わる環境保全の継続的改善及び環境汚染の未然防止について努め、企業の社会的責任を遂行します。
2. 環境に関連する法令や規制及びその他の要求事項を遵守し、利害関係者の見解に配慮します。
3. 社員全員が積極的に環境保全に関心を持ち、下記の事項を重点活動テーマとして取り組みます。
 - ・省エネルギー化を推進し、二酸化炭素の排出抑制に努めます。
 - ・工程から排出される廃棄物の3R（リデュース、リサイクル、リユース）に取り組みます。
 - ・節水を心がけ、水資源の有効利用に努めます。
 - ・環境負荷の少ない製品の開発や技術開発、改善に努めます。
 - ・グリーン購入に取り組みます。
4. この基本方針は、社内外に公表し、全ての社員に周知し、活動する事を誓います。

環境経営方針に沿って行動し、美しく暮らしやすい日本を子孫の為に残せるよう努めます。

2024年10月1日
株式会社 石原産業
代表取締役 石原信之

2. 事業活動の概要

(1)事業所及び代表者名

株式会社 石原産業

代表取締役 石原信之

(2)所在地

本社・工場 〒386-0407

長野県 上田市 長瀬 1053-7

白樺工場 〒389-0406

長野県 東御市 八重原 3533-154

(3)環境管理の責任者及び担当者名、連絡先

環境管理責任者 総務G GL 白鳥秀昭

連絡先

TEL 0268-42-5011

FAX 0268-42-5163

E-mail isijinji@ishi-hara.co.jp

(4)事業内容

精密部品加工、精密金型設計製作

オプト製品製造

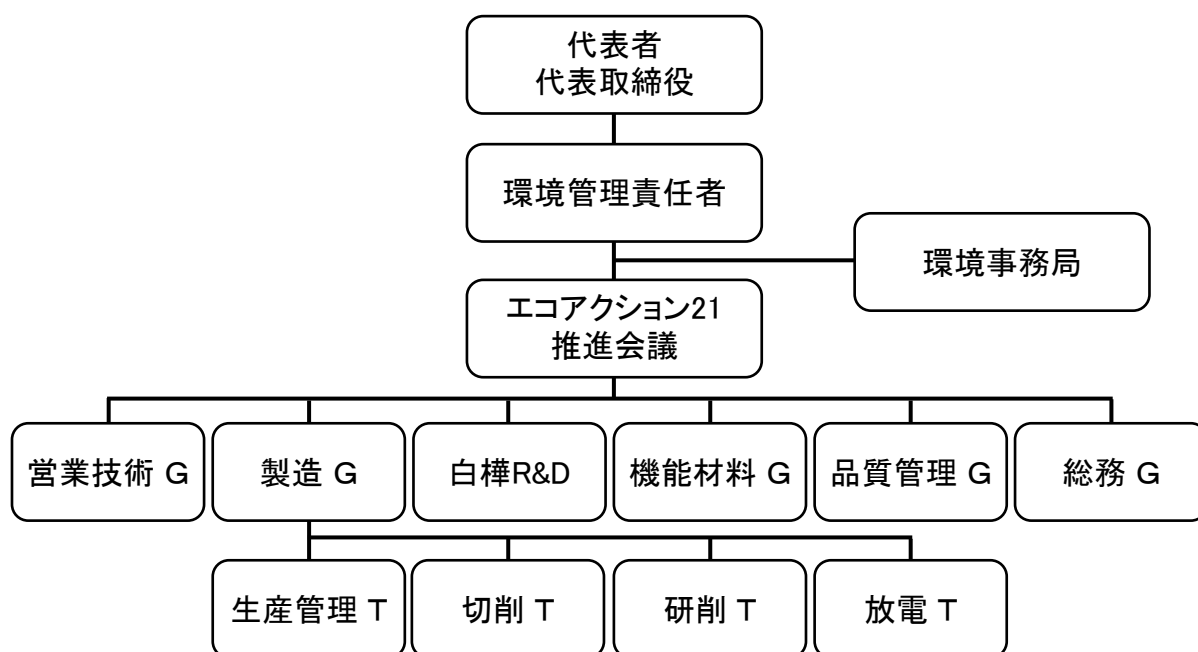
(5)事業規模

活動規模	単位	第53期 (2021年度)	第54期 (2022年度)	第55期 (2023年度)	第56期 (2024年度)
売上高	百万円	759	805	880	954
従業員数	人	74	75	75	77
床面積	m ²	4,352	4,352	4,352	4,352

(6)認証登録範囲

全組織・全活動

3. 実施体制



職名	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者(代表取締役)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示を実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境経営活動実施計画書を承認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	・環境管理責任者、EA21推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境経営目標・環境経営活動実施計画書原案の作成 ・環境経営活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
EA21推進会議	・環境経営目標・環境経営活動実施計画の審議 ・環境経営活動実績の確認、評価 ・各部門の取り組み状況の取りまとめ ・全社的な問題点の発見、是正、予防処置の推進 ・EA21推進会議の議事録の作成、保管
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営目標及び環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針を理解し環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加

4. 環境経営目標とその実績

4-1. 環境経営目標

(但し、第41期を基準年とし、第56期(2024年)目標の活動期間は 2023/10～2024/9 を示します)

【1】二酸化炭素排出量の削減

1) 電力使用量の削減

全体活動として各部門毎に生産設備待機電力の抑制、冷暖房の温度管理、照明は不用時に消灯を進める

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
生産高当たりの電力使用量 (単位:kWh/万円)	39.39	27.00	27.00	27.00

2) 化石燃料の消費量を削減する

全部門がエコドライブ運動(①ふんわりアクセル、②早目のアクセルオフ、③適切な暖機運転)で削減を進める

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
生産高当たりのガソリン軽油使用量 (単位:ℓ/万円)	0.2124	0.1965	0.1954	0.1944

3) 二酸化炭素の総排出量を削減

全体活動の中で、特に1) 電力使用料の削減や、2) 化石燃料の消費量の削減を推進しながら進める

(56期排出係数: 中部電力(株) 2020(R2)年度 0.406kg-CO₂/kWh)

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
生産高当たりのCO ₂ 排出量 (単位:kg-CO ₂ /万円)	0.473kg-CO ₂ /kWh 15.75	8.5%削減	9.0%削減	9.5%削減

【2】一般廃棄物の削減

可燃ゴミの分別化による紙のリサイクルを推進する

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
紙のリサイクル率向上 焼却ゴミ排出量当たりの紙リサイクル量	0%	37%	37%	37%

【3】製品の環境負荷低減

環境負荷の少ない製品・技術を年間2件開発する

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
改善提案件を顧客へ提案	データなし	2件	2件	2件

【4】化学物質の管理

お客様からの支給で、仕様が決まっていて少量のため、使用量削減は難しいが管理を行う

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
化学物質の管理を行う	データなし	管理の実施	管理の実施	管理の実施

【5】グリーン購入

環境負荷の少ない商品・製品等を購入する

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
グリーン購入率の向上 (事務用品に限定して進める)	導入の検討	41%	42%	43%

【6】水使用量の削減

節水により使用量の削減に努め、適正に管理する

取組項目	第41期実績	第55期目標	第56期目標	第57期目標
適正な管理を行う	-	適正管理	適正管理	適正管理

4-2. 環境への負荷実績

当社の業務内容から環境負荷としては、主に総エネルギー投入量（電力、ガソリン）、総物質投入量（金属）、水資源投入量・総排出量（廃棄物）等が該当する

1) コア指標

① 総エネルギー投入量

項 目	単位	第41期実績	第54期実績	第55期実績	第56期実績
総エネルギー投入量	MJ	20,762,987	21,422,469	20,618,366	19,866,889
生産量当たり	MJ/ton	1,375,032	920,605	886,049	375,272
生産高当たり	MJ/百万	39,324	26,612	23,430	20,825
従業員当たり	MJ/人	351,915	285,633	274,912	258,012
床面積当たり	MJ/m ²	4,771	4,922	4,738	4,565

② 総二酸化炭素排出量

第56期購入電力の排出係数 中部電力㈱ 2020 (R2) 年度 0.406 (kg-CO₂/kWh)

項 目	単位	第41期実績	第54期実績	第55期実績	第56期実績
総二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	832,550	893,933	861,770	829,564
生産量当たり	Kg-CO ₂ /ton	55,136	38,416	37,034	15,670
生産高当たり	Kg-CO ₂ /百万	1,575	1,110	979	870
従業員当たり	Kg-CO ₂ /人	14,111	11,919	11,490	10,774
床面積当たり		191	205	198	191

2) 環境負荷サブ指標項目

第56期購入電力は2,032,427kWhで、太陽発電は46,956kWhです

環境負荷サブ指標項目		単位	第41期実績	第54期実績	第55期実績	第56期実績
総エネルギー投入量	購入電力	MJ	20,402,027	21,066,909	20,222,669	19,517,180
	化石燃料	MJ	360,960	355,560	395,697	349,709
	合 計	MJ	20,762,987	21,422,469	20,618,366	19,866,889
総物質投入量	資源投入量	t	15.1	32.07	34.40	54.54
【水資源投入量】	上水	m ³	930	1,199	1,148	1,223
	地下水	m ³				
【温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	832,550	893,933	861,770	829,564
化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.36	0	0	0
	公共用水域への排出	t				
	土壌への排出	t				
総製品生産量又は	製品生産量	百万円	15.1	30.4	32.8	52.9
総製品販売量	環境負荷低減に資する製品	t				
	容器包装使用量	t				
【廃棄物等総排出量】	一般廃棄物総排出量	t	5.30	10.98	10.41	10.39
	産業廃棄物総排出量	t	14.71	31.17	28.23	29.11
	うち再資源化量	t	11.05	13.02	9.29	9.45
	特管産業廃棄物総排出量	t		0.48	0.33	0.90
【総排水量】	公共用水域	m ³	101	543	472	559
	下水道	m ³	829	656	676	664
	BOD	mg/l				

4-3. 環境への取組状況(2017年版で評価)

一部実施している場合は1点、未実施の場合は0点として、各施策毎に集計し、環境保全に関する施策の実施度合いを評価しました。

従って、当社に於いて施策を全て実施している場合は、実施度合い100%になります。

		【自己チェック実施日 : 2024.11.22		
分類項目	施 策	評価結果 の点数	満点の場 合の点数	実施度合 %
1.事業活動 へのインプ ットに関する項 目	1) 省エネルギー	126	156	80.8
	2) 省資源	43	48	89.6
	3) 水の効率的利用及び日常的な節水	20	28	71.4
	4) 化学物質使用量の抑制及び管理	22	28	78.6
	小計	211	260	81.2
2.事業活動 からのアウト プットに関す る項目	1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染などの防止	20	26	76.9
	2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	60	82	73.2
	3) 排水処理	4	4	100.0
	4) その他生活環境に係る保全の取組など	0	0	0.0
	小計	84	112	75.0
3.製品及び サービスに 関する項目	1) グリーン購入	10	28	35.7
	2) 製品及びサービスにおける環境配慮	18	28	64.3
	小計	28	56	50.0
4.その他	1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	0	0	0.0
	2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	6	22	27.3
	3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体 などにあたっての環境配慮	1	10	10.0
	小計	7	32	21.9
全分類項目	合計	330	460	71.7

・環境への取組評価結果

環境への取組に関する自己評価を実施した。今回は全体で321点から330点に評価がアップした。取組内容が徐々に変わってきていることもあるが、今後も、全体のレベルアップが出来るように取組んでいきたい。

5. 主要な環境経営活動計画の内容

【活動期間：2023年10月～2024年9月 1年間】

1) 電力使用量の削減

インプット項目	第56期(2024年度)目標
電力使用量の削減 ・第41期(2009年度) 実績: 39.39kWh/万円	27.0 kWh/万円 以下にする。
活動の内容: ① 生産設備の待機電力の抑制及び計画的暖機運転 ② 冷暖房の温度管理 ③ 不用な照明は、こまめに消灯 第56期購入電力は2,032,427kWhで、太陽発電は46,956kWhです	

2) 化石燃料の消費量を削減

アウトプット項目	第56期(2024年度)目標
化石燃料の消費量を削減 ・第41期(2009年度) 実績: 0.2124 l/万円	0.1954 l/万円 以下にする。
活動の内容: ① エコドライブ: ふんわりアクセル ② エコドライブ: 早目のアクセルオフ ③ エコドライブ: 適切な暖機運転	

3) 二酸化炭素の排出量を削減

アウトプット項目	第56期(2024年度)目標
二酸化炭素の排出量を削減 ・第41期(2009年度) 実績: 15.75kg-CO ₂ /万円	9.0%削減
活動の内容: 全体の活動の中で削減していく	

4) 一般廃棄物の削減

アウトプット項目	第56期(2024年度)目標
紙のリサイクルを推進 ・第41期(2009年度) 実績: ゼロ %	37%以上
活動の内容: ① 紙の使用量の削減 ② 可燃ゴミの分別化 ③ 裏紙の使用	

5) 製品の環境負荷低減

取組項目	第56期(2024年度)目標
環境負荷の少ない製品・技術を年間2件開発する	年間2件
活動の内容: 改善提案活動	

取組項目	第56期(2024年度)目標
客先支給・仕様指定で少量のため、使用量削減は難しいが、管理は実施する	化学物質の管理の実施
活動の内容: 化学物質の管理を行う	

7) グリーン購入

取組項目	第56期(2024年度)目標
環境負荷の少ない商品・製品等を購入する	購入比率42%
活動の内容: 事務用品に限定して進める	

8) 水使用量の削減

取組項目	第56期(2024年度)目標
節水により使用量の削減に努め、適正に管理する	適正管理の実施
活動の内容: 適正な管理を行う	

6. 環境経営活動の実績と評価

【活動期間：2023年10月～2024年9月 1年間】

1) 電力使用量の削減(単位:kWh/万円)

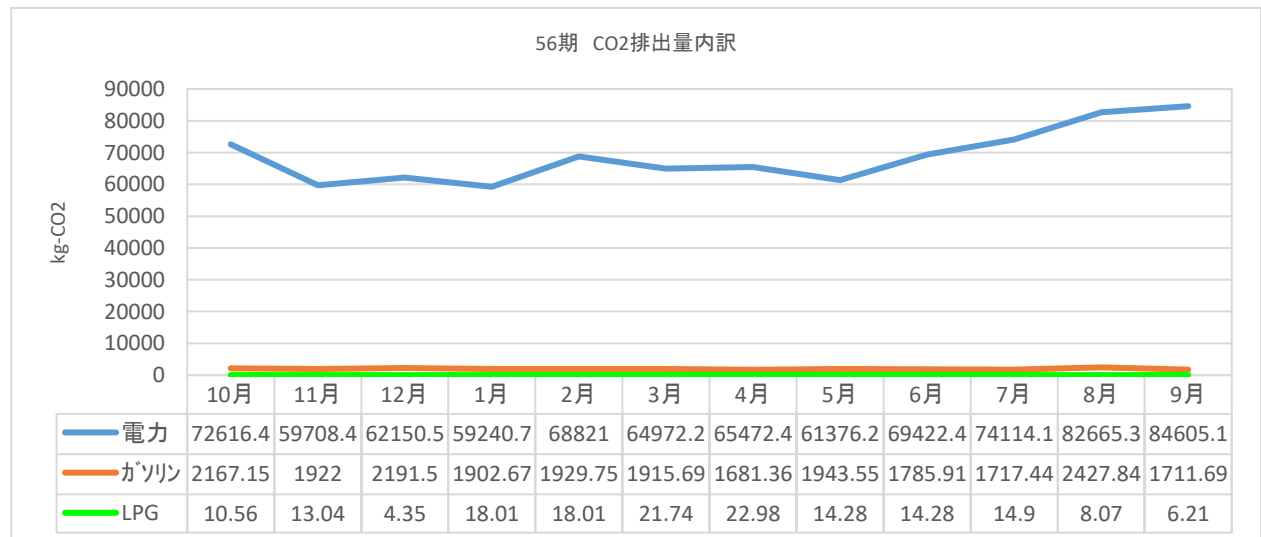
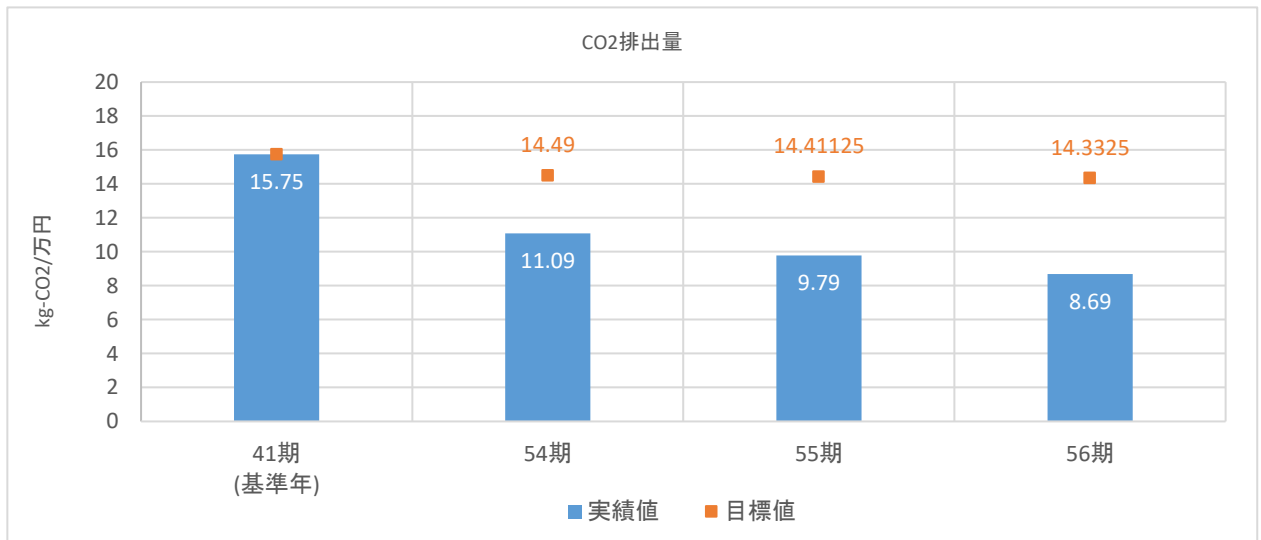
インプット項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
電力使用量の削減 ・第41期(2009年度) 実績: 39.39kWh/万円	27.0	20.8	○	56期活動内容の継続

2) 化石燃料の消費量を削減(単位:ℓ/万円)

アウトプット項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
化石燃料の消費量を削減 ・第41期(2009年度) 実績: 0.2124 ℓ/万円	0.1954	0.10	○	56期活動内容の継続

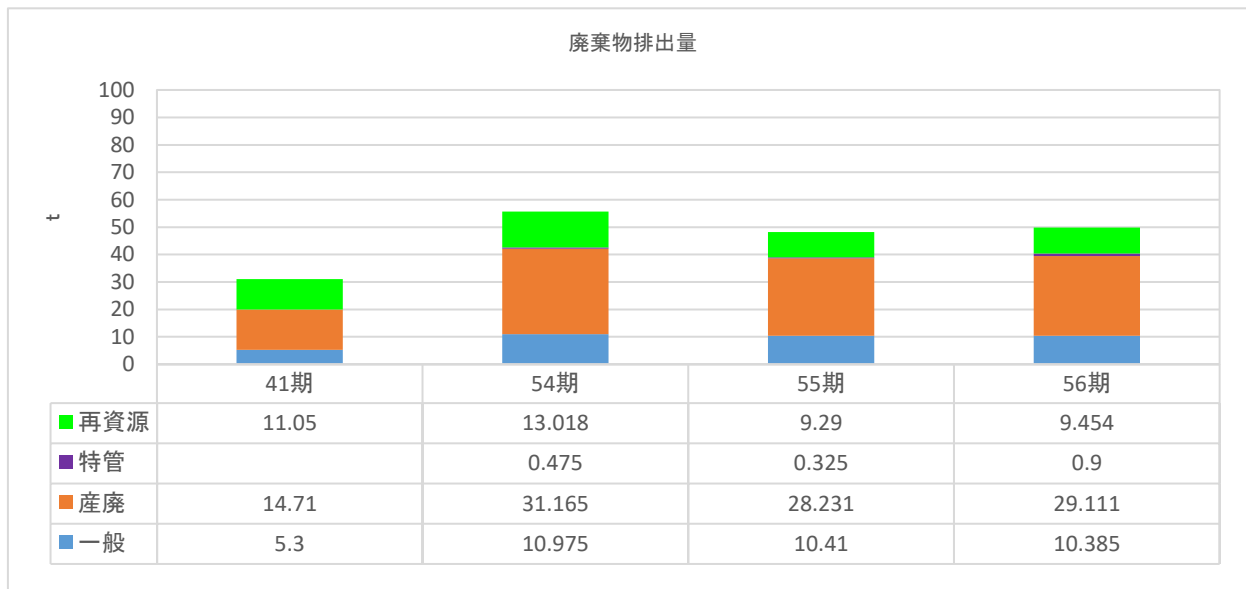
3) 二酸化炭素の排出量を削減

アウトプット項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
二酸化炭素の排出量を削減 ・第41期(2009年度) 実績: 15.75kg-CO ₂ /万円	9.0%削減	44.8%削減 (8.69kg-CO ₂ /万円)	○	56期活動内容の継続



4) 一般廃棄物の削減

アウトプット項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
紙のリサイクルを推進 ・第41期(2009年度) 実績:ゼロ%	37%	28.1%	×	56期活動内容の継続



5) 製品の環境負荷低減

取組項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
環境負荷の少ない製品・技術を年間2件開発 (改善提案活動)	年間2件	年間2件を改善	○	56期活動内容の継続

6) 化学物質の管理

取組項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
客先支給・仕様指定で少量のため、使用量削減は難しい	管理の実施	管理簿記帳による	○	56期活動内容の継続

7) グリーン購入

取組項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
環境負荷の少ない商品・製品を購入する	42%	86.35%	○	56期活動内容の継続

8) 水使用量の削減

取組項目	第56期(2024年)目標	実績値	評価結果	次年度の取組計画
適正な管理を行う	管理の実施	1,223m ³	○	56期活動内容の継続

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

7-1 適用される環境関連法規制

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規等は次の通りです。

項 目	確認	結果
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	マニフェスト	○
	特管責任者	○
・騒音規制法	届出	○
・フロン排出抑制法	点検	○
・浄化槽法	点検	○
・労働安全衛生法	測定結果	○
・毒物及び劇物取締法	保管	○
・消防法	届出	○

7-2 環境関連法規への違反、訴訟はありません。

当社は、環境管理責任者が中心となり法規の遵守状況について定期的にチェックを行っており、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

環境管理責任者 白鳥秀昭

内 容	過去3年間の結果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

56期も厳しい状況の中、各数値目標の達成を目指し活動してきた。一部未達の項目はあるが、今後につながる結果と捉えている。

55期から力を入れている、エアコンの使用方法や設定温度の工夫などにより電力使用量を下げられたことは、社員の省エネ意識が浸透し身近な省エネ行動による結果だと考えるが、古いエアコンなどを使用しているため設備更新の検討も進めたい。毎月のエコアクション21推進会議でこれらの実施状況が発表・確認され着実に進んできているため、一歩、そしてまた一歩、とつながっている活動を評価したい。

57期は、56期に続き削減目標だけでなく仕事の流れを良くするため、仕事のやり方・進め方を変えていくことが課題である。新しい視点で価値の創造に挑戦し、生産性向上につながる取り組みができるよう、環境事務局が毎月開催するエコアクション21推進会議と環境に関する教育訓練を計画し実施することで継続的な活動ができる全組織にする。

環境経営方針	■変更なし	□変更あり
環境経営目標・計画	■変更なし	□変更あり
実施体制	■変更なし	□変更あり

株式会社石原産業
代表取締役 石原信之